

優しい無視を
そっと見守ってね

H30年度も終わります。どんな1年だったでしょうか？受傷したばかりの方は、大変なことばかりだったでしょうし、ちょっと落ち着いてきたよ という方もおられることでしょう。

推進室は新年度に向けて、まず、院内のポスターを一新しました。今回は、頸髄損傷の介助犬ユーザー藤原さんに作成をお願いしました！介助犬と一緒にいることで広がる世界や、ほっこりする介助犬の素顔、介助犬との日常の一瞬一瞬を切り取って、9枚の素敵なポスターになりました！介助犬の魅力満載です。院内でぜひ探してみてくださいね。

今年度、推進室は「介助犬は日常生活を助けるだけでなく、心の支えになったり、人や社会とつながることで新しい世界が広がったり、乗り越えていく力になってくれる可能性がある。それが、自分の生き方を変えた。」という研究をしました。肢体不自由になるとたくさんの方が思う「身体が動かなくなってしまった、けど、自分の価値ってそこにあるんだろうか？自分には何ができるんだろう？」・・・この問いに、来年度も、ユーザーのみなさんや介助犬たちを通じて考えていきたいと思ひます。

君がいるから出逢える感動がある

吉備リハは介助犬の普及活動を応援しています

優しい無視を
そっと見守ってね

介助犬を見かけたら
介助犬ユーザーが介助犬を同伴している時、介助犬は「作事中」です。
●作中の介助犬には、話しかけたり、じっと見つめたり勝手に触ったりして気をひく行為をしないようにしましょう。